

怪獣 母ちゃん 奮闘日記

4人の子どもを育てる母
ちゃんが、家族、子育て、
自分のことなど日常のあ
りのままをつづります。

書く人／辻登志江さん

「つながり農園」主宰、元作業療法士。夫、子どもの6人家族。高校までピアノ、勉強、大学までバレーボール、に打ち込む。地元岡山で作業療法士としてバリバリ働いた後、青年海外協力隊員としてチュニジアへ。大学院で学びを深め、結婚を機に2012年から徳島へ。43歳。

寝の3 怪獣母ちゃん睡眠事情

昔「24時間戦えますか!?!」っていう

CMのキャッチフレーズがありました。それなのに怪獣たちが産まれてから状況が一変した。授乳、排泄やおねしょの世話、寝ぼけ叫びの相手、誰かが病気の時の介抱。特に3号(みつる)の皮膚炎のある時は夜が辛くて何度も起きるなど、対応が24時間でも気が抜けない。足かけ7年、夜ぐっすり寝たことは皆無に等しい。急に眠気はくるし、妙にイライラする。家事も仕事もすつきり終わらない。怪獣たちに「ご飯は大事に食べて! おもちや片付けて、ゴミ箱の中に住んでるん違うんじゃない!」と怒り散らし、「こらっ! ○▲□※●+▽!」ってもう自分でも何を言ってるのかわからない。そのうち声も出なくなつて、もう母ちゃんはダメですつて、遠くを見つめてボーーーーーっとして動けなくなつちゃう。気持ちの変動も表現もむちゃくちゃです。怪獣たちはびっくりにして、「母さんが話さなくなつた、大丈夫?」「母さん大好き、笑つて」って口々にやさしいこと言ってくれる。「うん大丈夫だよ」って言うとすぐに「よかった、じゃあ母さん遊ぼう、ねえ聞いて、お出かけしよう、畑行こう、お友達たち呼ぼう、おいしいご飯食べよう、おなかすいた」って同時に言うてくる。えつとね、順番に言うて。それよりも、母さんをちよつとの間だけでいいから放つておい



後列左から時計回りに、怪獣1号ゆいた(6歳)、2号じんと(4歳)、3号みつる(3歳)、4号しほ(1歳)。寝ている時は天使ちゃん、起きたら怪獣の四人。

てつて、涙が出る。

先日、怪獣を寝かしつけている時、すぐに寝なくて遊んで歌いだしただけで、思わず「寝て! お願いだから寝て! 母さんは眠たいんよ! 母さんが寝たいわ!」って叫んじやつた。大音量の自分の声にハツとして、あ、そっか。私が寝たいんだ、つて気づいて笑つちやつた。その時の怪獣たちの不思議そうな顔つたら。父ちゃんからもよく「母さんが寝不足だとパフォーマンスが落ちて、家族が元気でにこにこしていられなくなるので寝てください!」って言われている。納得! ハイ、喜んで!

それからの母ちゃんは日中のちよこちよこ昼寝休憩やぐうたらの日を取り入れて合計睡眠時間を確保することに闘志を燃やしている。日中の作業効率の良さや二〇二〇時間の増加につながつて、はず。笑。睡眠の影響おそるべし。食欲よりも睡眠欲満たすのが大事なのだー!

怪獣道は未知で果てしない。